

平成 19 年 12 月 27 日

P E T ボトルリサイクル推進協議会

会長 服部 政夫 殿

廃 P E T ボトル再商品化協議会

会長 鹿子木 公春

「容器包装リサイクルシステム」の維持・向上に向けたお願い

貴協議会に於かれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、使用済み P E T ボトルのリサイクルに関し、昨年の改正容器包装リサイクル法の認識を受け、第 5 期分別収集計画に於ける「指定法人ルート」への引渡し予測では好転の兆しが見えて参りましたことは、貴協議会をはじめとする関係諸団体のご尽力の結果と心より感謝申し上げる次第です。

しかしながら、再商品化事業者の経営環境は非常に厳しい状況にあることには変わりありません。是非とも下記について貴協議会のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

1. 指定法人への円滑な引渡しを促進する施策の検討

現行の制度では、「資金拠出制度」は費用規模が小さいこともあり、自治体の分別収集や品質改善にとって大きな期待が持てない状況です。

指定法人への円滑な引渡しが促進され、容器包装リサイクルシステムが維持・向上されるような特定事業者の皆さんによる「新たな仕組み造り」等の検討と実施をお願い致します。

2. リサイクルしやすい P E T ボトルの商品設計

指定 P E T ボトルの自主設計ガイドラインに基づきリサイクルしやすい商品設計には平素からご尽力いただいておりますが、下記の点についてのご検討をお願い致します。

- 1) ラベルの減量化（ハーフラベル化の検討）
- 2) 紙ラベルの廃止及び全面糊付け禁止の徹底
- 3) 輸入品への自主設計ガイドライン適用の徹底（カラーボトルを含めた規制の徹底）